

スパイラルバッフル板 概要

■スパイラルバツフル板の特長

- ・冷却水を螺旋状に流すことにより、冷却水がコアに接触する機会が増加するので、通常のバッフル板と比較して冷却効率が高くなります。
- ・プラスチック製ですので、錆が発生せず、冷却穴が詰まりにくくなります。
- ・切断可能ですので、冷却穴に合わせて長さや先端形状の調節も容易です。また、ガラス繊維入りですので折損しにくくなっています。
(引張強度約490N/mm² {50kgf/mm²})

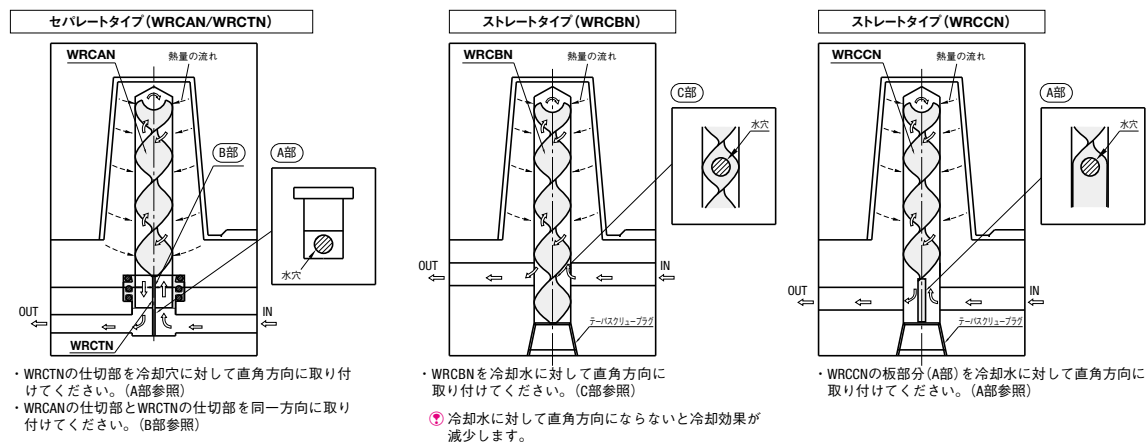
■ご利用上の注意点

上記の取付穴加工例にある推奨寸法の通り取り付けただいても、水漏れが発生する場合があります。原因としては、以下の点が考えられます。

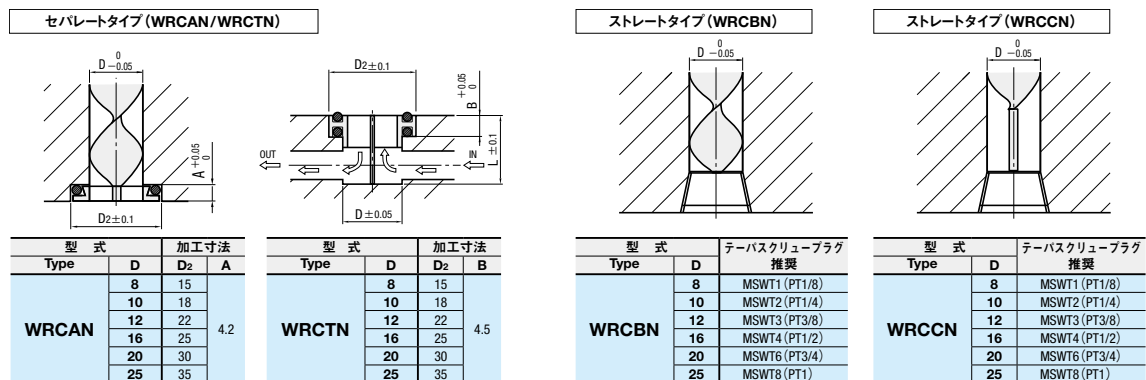
- ・取付部のプレートのゆがみ
- ・取付部のプレートの固定位置とスパイラルバツフル板との距離が遠い(押さえる力が減少する)
- ・Oリングのバラツキ

このような場合には、固定箇所を増やす、設置場所の外周をOリング等でシーリングする、取付穴部を推奨値より浅めに加工し、追加工にて調整するなどを行ってください。

■スパイラルバツフル板の使用例



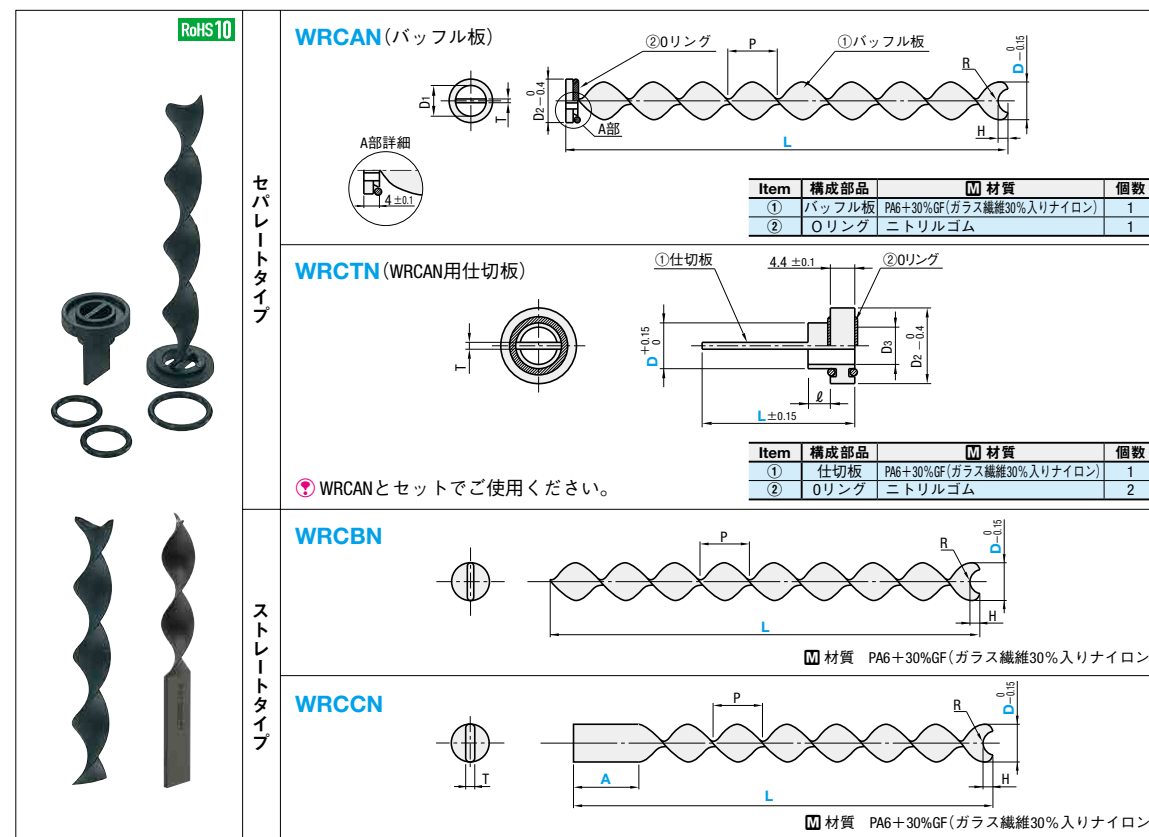
■ 取付穴加工例 (推奨値)



SPIRAL BAFFLE BOARDS

スパイラルバツフル板

—セパレートタイプ／ストレートタイプ—



■セパレートタイプ

					P	構成部品 ②Oリング	型 式		L 選択
D1	D2	T	R	H			Type	D	
8	15	1.5	2	2	20	P10	8	100 200 300	
10	18	1.8	2.5	2.5		P12	10		
11	22	2	3	3	P16	12			
15	25	3	4	4	P20	16			
18	30		5	5	AS119	20			
25	35	3.5	6	6	AS121	25	100 200 300 400		

D3	D2	T	ℓ	構成部品 ②Oリング	型 式	L 選択
6	15	1.2	4.1	P 8	D	
8	18	1.5		P10	8	
10	22	1.6	6.0	P12	10	
13	25	2		P16	12	
17	30			P20	16	25 30 35 40
22	35			2.4	20	
				AS119	25	

■ストレートタイプ

R	H	P	型 式		L
2	2	20	Type	D	選択
2.5	2.5		WRCBN	8	96 196 296
3	3	25		10	
4	4			12	
5	5			16	
6	6			20	
				25	96 196 296 396

T	R	H	P	型 式		L 選 択	A
				Type	D		
1.5	2	2	20	WRCCN	8	100 200	34
1.8	2.5	2.5			10		
2	3	3	12				
3	4	4	16				
3	5	5	25		20	100	42
					25	100 200 300	42 92
3.5	6	6	25			100 200 300 400	42 92

⚠ 水温80℃以下でご使用ください。



型 式	—	L	—	A
WRCAN 16	—	200		
WRCCN 20	—	100	—	A42

